

第11回国際女性技術者・科学者会議のお知らせ

共 催：日本女性科学者の会・日本女性技術者フォーラム・日本学術会議

後 援：日本気象学会他40学会

会 期：1999（平成11）年7月24日（土）～27日（火）

会 場：千葉県幕張メッセ・国際会議場

プログラム：

“Science and Technology for Global Ecology”

A. 地球環境のための科学と技術

- 1) 文明と環境（地球温暖化, 砂漠化, 持続可能な農業, 生物多様性, 自然復元）
- 2) 先端技術と環境（環境汚染, 新エネルギー, リサイクル技術, 情報科学とマルチメディア等）
- 3) 生活と環境（空気・水・土, 食糧資源, 健康と医学, 少子化・高齢化, 人口問題, 災害と防災, 都市計画, 地方自治体の役割, 法制化）
- 4) バイオテクノロジー（遺伝子研究, 生物的防除, 応用生物学）
- 5) 教育と倫理（環境教育, 理科教育, 科学技術と社会的責任）

B. 女性と科学（女性の社会的地位, 労働環境/在宅勤務, 基礎科学と技術, 国際交流）

C. シンポジウム『地球環境に果たす女性の役割』

会議使用語：原則として英語（基調講演は通訳付）

参加予定者数：約600人（国外～200人, 国内～400人）

参加者：地球環境問題に関心のある方はどなたでも参加できます（特に男性歓迎）。

登録料：一般35,000円, 学生20,000円（'99年4月までに登録の場合）

会議の目的と経緯：

1920年イギリスで設立された女性技術者学会の呼びかけにより, 1964年アメリカで第1回国際女性技術者・科学者会議（ICWES）が開催されました。以来30年, 約3年毎に各国で開催しております。

ICWESの目的は, 女性技術者・科学者が日頃の研究成果を国際交流の中で発表すること, 相互理解と社会への啓蒙を図ること, さらに女性技術者・科学者の地位を確立することにあります。なお, イギリスで開

催された際にはケント侯爵が, インドではインディラ・ガンジー首相が名誉総裁になられています。

アジアでの開催はインドに次ぐ2回目であり日本が国際的責任を果たす良い機会であると考えます。本会議により次のことが期待できます。

●「地球環境のための科学と技術」を統一テーマとすることにより, 地球環境保全への日本の科学技術貢献, 意識および関心度を世界に示すことができる。

●女性技術者・科学者の多様な職域を後輩の若い女子学生達に示し, 女性の理工系分野への進出の可能性を示すことができる。

●国際比較の下, 日本の女性技術者・科学者の地位の向上を世に問うことができる。

この会議の開催状況は次の通りです。

	開催年	開催国		開催年	開催国
1	1964	アメリカ	6	1981	インド
2	1967	イギリス	7	1984	アメリカ
3	1971	イタリア	8	1987	旧象牙海岸
4	1975	ポーランド	9	1991	イギリス
5	1978	フランス	10	1996	ハンガリー

参加申込方法：ハガキ, FAX 又は e-mail で事務局宛お申し込みください。詳しい資料を送付いたします。

♣**募金のお願い**（本会議を成功させるためにぜひご協力お願いいたします）：

1) 郵便振込の場合：

口座番号 [00150-6-409735], 口座名称 [第11回国際女性技術者・科学者会議事務局]

2) 免税措置を希望される場合：事務局までご連絡ください。募金手順を送付いたします。

♣ ICWES-11事務局：

〒113-0033 東京都文京区本郷7-3-1

東京大学理学部・国際交流室内

第11回 国際女性技術者・科学者会議事務局

事務局長 ツグワ 都河 アキコ 明子

TEL/FAX：03-3812-2413（直通）

E-mail：tsugawa@adm.s.u-tokyo.ac.jp